

3

科学者からの警告

成層圏オゾンの破壊を警告

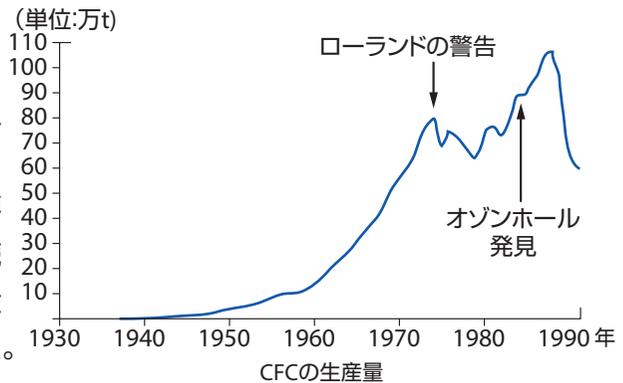
1974年、アメリカの二人の科学者シャーウッド・ローランドとマリオ・モリナは、フロンが成層圏のオゾンを破壊すると「ネイチャー」という学術雑誌で発表しました。彼らは大発見をしたにもかかわらず、喜びを感じるどころか、世界の終わりが来た気分だったといいます。そして、「この影響は今すぐに出るのではなく、ずっと後になってからのことだが、今すぐ対策を講じなければ手遅れになる。」と警告したのです。



ローランド博士 モリナ博士

フロンメーカーの反発

しかし、彼らの警告は世間では受け入れられませんでした。特にフロンを作っている化学品メーカーは、ローランド博士の言っていることを非難し、生産を続けました。そしてその後もフロンの生産量は世界的にどんどん増えていきました。



フロンガス協会資料より作成

オゾンホールの発見！

ところが実際は、ローランド博士たちが予測した以上のスピードでオゾン層の破壊は進行していました。博士たちの警告から10年後の1984年、南極上空にオゾンホールが発見されたのです。

問題がはっきりしてからでは遅い？

もし、ローランド博士たちの言葉に当時みんなが真剣に耳を傾けていたら、オゾン層破壊をもっと早い段階でくい止めることができたでしょう。また、もし博士たちの警告がなかったら、オゾンホールの原因がわからず、対策がもっと遅れていた可能性もあります。彼らの功績は非常に大きいのです。1995年、ローランド博士とモリナ博士はノーベル化学賞を受賞しました。どんな環境問題も、結果が目に見えるようになってからではなく、予防原則のもとにできるだけ早い段階で、対策をとる必要があります。